

志望校合格を目指す生徒とそこそこのご父母のための大学進学情報紙



5/1

トーシンタイムズ
2017年 5月1日号
毎月1日発行

TOSHIN TIMES

This month's Headlines

**難関大合格のカギは
早期スタート
学習量を確保する
総合的な計画を立てよう**

- 志望校合格まであと何時間? 02
東進自慢の実力講師陣が贈る珠玉のメッセージ
- 学習アドバイス【英語/数学/古文・漢文/物理/地理】 04
- 輝け☆部活生!! 編 東進OB・OG座談会 06
- 親心応援団 大学入試報告会 08
- 憧れの職業を追え! 銀行業界 法人営業 編 14

**東進
独自検証**

高3生

**難関大現役合格者
学校以外での
勉強時間
平均**

**2017年合格発表会場アンケート調査より
6時間
35分!!**



夢は大きく、
目標は高く。

受験勉強を進める君にとって、「どのくらい勉強すれば合格できるのか」は気になるところだろう。学力の向上および合格するかどうかは学習の「量×質」で決まる。

ここでは、前号でも紹介した「合格発表会場アンケート」から、合格者と不合格者の学習量を分析した結果を紹介する。

〔関連記事P2〜3〕

**難関大合格のカギは
早期スタート**

まずは、今年の受験における難関大現役合格者と不合格者それぞれの学習時間、学校の授業以外(資料1)を見てほしい。

結果は、現役合格者のほうが、不合格者よりも高校3年間トータルで334時間多く学習していた。

現役合格者、不合格者のどちらも共通して学年が上がるにつれて、年間の学習時間が増えている。これは受験本番が近づくほど、誰もが自ずと学習時間を増やすからであり、想像しやすいだろう。

さらに詳しくこのデータを見てみよう。学年別にこのデータを見ると、現役合格者のほうが高1生で120時間、高2生で178時間、高3生で36時間と、どの学年でも不合格者よりも多く学習をしていた。

このことから現役合格した先輩たちは、高1・高2のうちから早めにスタートして勉強を積み重ねることで、受験を有利に進めていたと読み取ることができ。

高2生・高1生は高校生活を充実させるためにも、今から受験勉強をスタートさせよう。

今更だと思ってしまう学習に取り組みなかつた高3生は、高1・高2のときの分まで挽回する意識を持って勉強をスタートさせ、次に説明する学習時間を確保できるように学習を進めてほしい。

**学習量を確保する
総合的な計画を立てよう**

高3生の難関大現役合格者の一日あたりの学習時間、学校の授業以外(資料1)は平均6時間35分であった(P2・資料2)。前述した学習時間の開きである334時間を埋めようとしたら、51日(つまり約2ヵ月)が必要だ。

この学習量を現実においてはめて最短で追いつこうと考えると、今から入試本番までの残り約10ヵ月間のうち、およそ2ヵ月間は、まわりの受験生の2倍の勉強が必要ということになる。やりとげる

ためには、並々ならぬ強い意志と猛烈な努力・体力が必要だ。もちろん学習の量(時間数)だけではなく、質が重要なことは言うまでもない。

さて、難関大現役合格者の学習時間4093時間、学校の授業以外(資料1)は、この334時間の12倍にあたる。

一気呵成に終わらせる方法もあるが、量が多いからといって、千里の道も一歩からだ。まずは「目標を持つ」「計画を立てる」そして「実行する」、この3つを

進めよう!

既に学習をスタートしている高校生は、自分で限界を決めるのではなく、より高みを目指して学習を進めよう!

資料1 難関大受験者(現役) 高校3年間の総学習時間(学校の授業以外)

学年	現役不合格者 (時間)	現役合格者 (時間)	時間差
高3	2,168	2,204	36
高2	954	1,132	178
高1	637	757	120
トータル	3,759	4,093	334

